

第20回 社長懇話会記録 鈴木合金(株)の鶴町工場見学と講演

平成27年6月12日に企業トップ19名の参加を得て、大阪港近くの鈴木合金(株)抵抗器製造工場を見学し、同社発展の歴史を聴きました。

社長懇話会は中小企業経営者の交流にATACがお手伝いできればと考えて2003年に始めたもので、今回20回目を数えました。

当社の生き立ちと製品の特徴

当社は大正6年創立の資本金2.5億円、従業員は鶴町工場に49名、全社で115名という企業で、電車の電圧安定のための抵抗器などを製造しており、この分野では第一人者です。

当初から作ってきた鑄鉄製の抵抗体は現在でも健在ですが、鑄鉄製以外に鋼板を曲げて作る鋼板製の抵抗体も作っており、現在は主として振動がかかる車両用には鋼板製を、静止状態で使う電源等の安定用には鑄鉄製を使っています。

工場見学

工場レイアウトの説明を受けた後、工場見学に移りました。

高周波誘導炉(電気炉)による鑄鉄抵抗体の砂型鑄込みを見学しました。

続いて、帯状の鋼板を折り曲げて作る鋼板製抵抗体の折り曲げ装置(自動及び半自動)、抵抗体を取り付ける抵抗器の枠作成のための板金装置(ベンダー及びパンチプレス)、使用済みの抵抗器を修繕するためのショットブラストなどの製造設備を見学しました。また、検査装置として、抵抗器に異常高圧がかかったときの挙動を調べるインパルス高電圧発生装置や、高・低温試験用の電源装置なども見学しました。

永年にわたり鶴町工場を保守、管理し、職人の技術がベテランから若い人へ確実に継承され、さら

に新技術開発、研究への挑戦の姿勢がうかがえ、感心しました。また、真空中放電プラズマ焼結機や金属/セラミックス複合体のボールミル造粒機など次世代の抵抗体を見越した研究、開発、設備、品質保証体制など多くを学ばせていただきました。

龍身部長、谷内部長、工場の皆様には心こもるお迎え、ご説明、ご案内を受け、感謝申し上げます。

講演会

鈴木慶一会長の海外からの帰国遅れにより春井真二常務取締役が講演されることになりました。春井常務のお話しは、顧客が満足する製品づくりに徹底し、社会貢献する、という同社の経営理念がひしひしと伝わってきました。また、日常の研究データから今後の開発すべき課題を抽出し、毎年課題を掲げてそれを達成するシステムを構築しているというお話しは、大変参考になりました。

交流会

講演会の余韻も覚めぬまま、春井常務の周りには次々と人の列ができる状況でした。各テーブルでは技術の伝承の話題がしきりで、特に車両用抵抗器一筋での企業のあり方等、話題は尽きませんでした。

今回の社長懇話会にご協力いただきました鈴木合金(株)様には心よりお礼申し上げますとともに、同社の今後の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。
(明石記)

